



お金の大切さとためる楽しさ

神奈川県・藤沢市立片瀬中学校 3年 松田 亜久里

私は今、T学園という施設で暮らしています。その理由は、私がまだ幼稚園に入っていない時にお母さんとお父さんが離婚してしまったからです。そのせいでお母さんと私だけで暮らすことになりました。これだけでも大変なのに私が幼稚園生になったばかりのことです。それは、お母さんに事情があつてお母さん一人では、私を育てられなくなりました。なので親戚の人が施設を探してくれて、小学1年生の7歳の時にT学園に来ました。まず、驚いたのはお小遣いがもらえることと、そのお小遣いでもらえるお金の額です。今まで私が小さかったというのがありますが、お金をもらったことがなかったのでとても驚いたし、なによりの幸せでした。

お小遣いの額は、小学校に入学したばかりの小学1年生なのになんと、1,100円です。それ以外にも子ども手当や税金などといったお金で私は助けられています。他にも私は、1日3食必ず食べられます。それに学校がある日にはとてもおいしいお弁当を作ってくれます。これは今だけでなく、小学生の時からのことです。私は、小学5年生の時に地域のサッカーチームに入っていました。他にも小学6年生の時と中学1年生の時に塾に通っていました。その時のお金も全て出してもらいました。私は今、卓球部に入っています。卓球は、ラケット、ラバー、シューズ、ユニフォームなどといった物を3年間買ったりするとお金がものすごくかかってしまいます。それだけではなく中学1年生の時には、先輩の応援に行くことが多く、遠い所に行くこともありその時にお金がかかりました。私は今、Aチームのレギュラーです。そのため、試合に出ることが多くなり試合に出場するのにお金がかかったり、私の中学校は、結構いい成績をのこしているのです。他の中学校から練習試合に呼ばれることもあり、その中学校へ行く時もお金がかかりました。

今、振り返るとそのお金は全て東京都や国から出た税金であつたり、子ども

手当によって私は助けられたのだと気付きました。もし、税金や子ども手当が無ければ、私はこんなに大きく元気には育たなかったと思います。税金と子ども手当に感謝です。どれだけ今、もらっているお金が本当に大切なものなのか、この作文を書いている時に初めて気付きました。もっと早くお金の大切さを知っておけば、役に立ったと思うので後悔しています。でも、後悔していても前には進めません。なので、行動に移し、学園の小さい子に教えていきたいと思います。具体的には、お金をためる楽しさを教えていきたいです。私のお小遣いは、7万円あります。それは、お金をつかわずにどんどんためていったからです。お金がたまっていくと嬉しくなり楽しくもなります。それに最終的には、自分のためになります。そして、お金をためないといけないと思うとお金の無駄遣いが減ると思います。

なので、お金がたくさんになるとどれだけワクワクするか味わってもらいたいです。

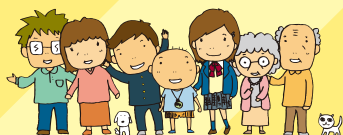
そこで、私が行っているお金をためるコツを四つ紹介します。

一つ目は、我慢^{がまん}して無駄遣いしないことです。我慢しなければ絶対にお金はたまりません。無駄遣いをしていけば増えるどころか減る一方です。なのでどんなに欲しくても我慢することと無駄遣いをしないことが大切だと思います。

二つ目は、たまったらすぐに貯金することです。私は、1万円程たまったらすぐ貯金しています。そうすることによってお財布の中にお金が入ってなくて、お金をためなきゃいけないと思うから、たまると思います。

三つ目は、お小遣い帳を書くということです。私は、お小遣いを使ったらその日中にお小遣い帳を書きます。お小遣い帳を書くことで今、自分がどれだけのお金があるか確認できます。買いたい物がある時にお金がどれくらいあるかお小遣い帳で確認して余裕があるなら買うし、余裕が無いなら買わないというシステムになり、お金がたまると思います。

四つ目は、使い方です。今までの三つのことをまとめたのですが、その物が本当に欲しいのか、本当に自分にとって必要なのかを考えて使います。私が体験したのは、コンビニに入ると食べ物や飲み物が欲しくなります。ですが私は、そこで考えます。「本当に欲しいのか？」と考えた末、「寮に帰れば食べ物や飲み物があるから買わなくてすむ」という結果になります。



この四つの行動をすれば、お金が減ることなくたまると思います。
このように、私のやっていることや、コツを学園の小さい子達に教えていきながら、お金の大切さについても教えていきたいと思っています。

